
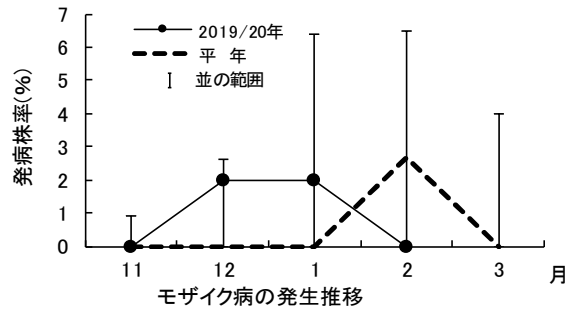


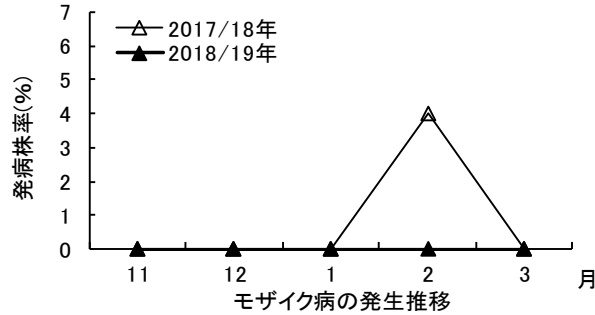
作物	かぼちゃ	地域	八重山群島
病害虫名	① モザイク病		
予報	3 月の発生量 (平年比)	並	
	2 月からの増減傾向	→	
予報の根拠	2 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)		

調査結果

今年と平年の推移




過去2年間の推移



・発生ほ場率：40% (平年値：52.5%)

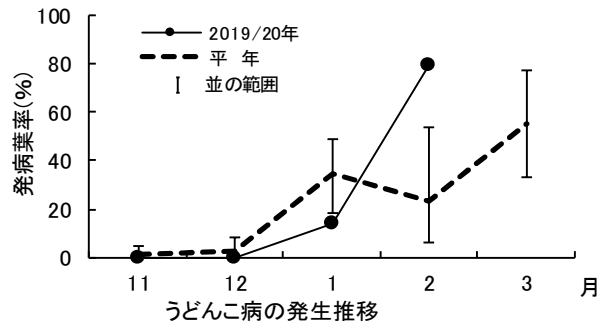
防除のポイント

- ・ほ場周囲に防風対策を兼ねたソルゴーや防虫ネット等を設置し、媒介虫であるアブラムシ類の飛来侵入を防ぐ。
- ・媒介虫の密度が低くても感染力は高いので、葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・発病株は感染源となるので見つけ次第抜き取り、ほ場外へ持ち出し処分する。
- ・本病は汁液伝染するので、ハサミや手の消毒、洗浄を行う。

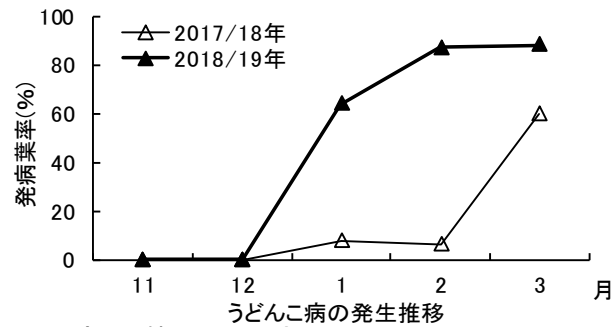
作物	かぼちゃ	地域	八重山群島
病害虫名	② うどんこ病		
予報	3 月の発生量 (平年比)	やや多	
	2 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	2 月の発生量 (平年比)	やや多	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

今年と平年の推移




過去2年間の推移



・発生ほ場率：100% (平年値：92.5%)

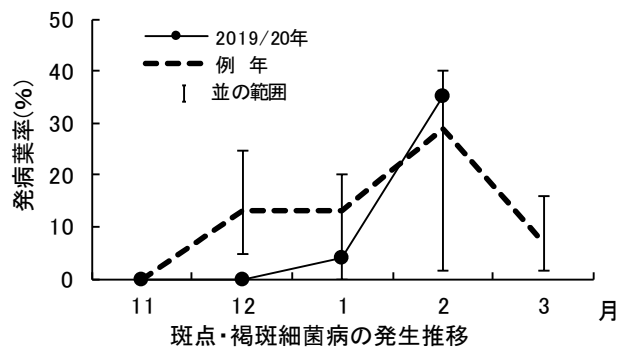
防除のポイント

- ・着果期以降は草勢の低下に伴い被害が急激に広がる場合があるので防除を徹底する。
- ・発生源となる老葉や不要な下葉を除去し、透光通風を良くする。
- ・窒素質肥料の多施用を避け、予防散布を行う。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

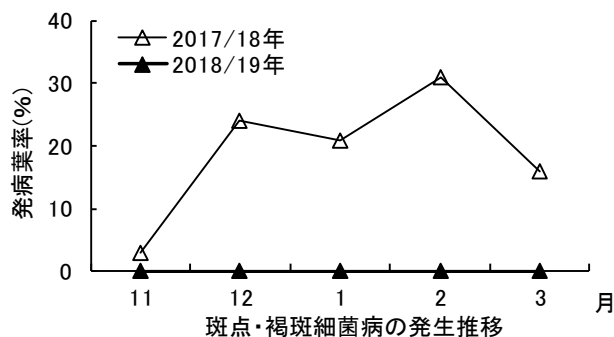
作物	かぼちゃ	地域	八重山群島
病害虫名	③ 細菌病		
予報	3 月の発生量 (平年比)	並	
	2 月からの増減傾向	↘	
予報の根拠	2 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↘)	

調査結果

今年と平年の推移




過去2年間の推移



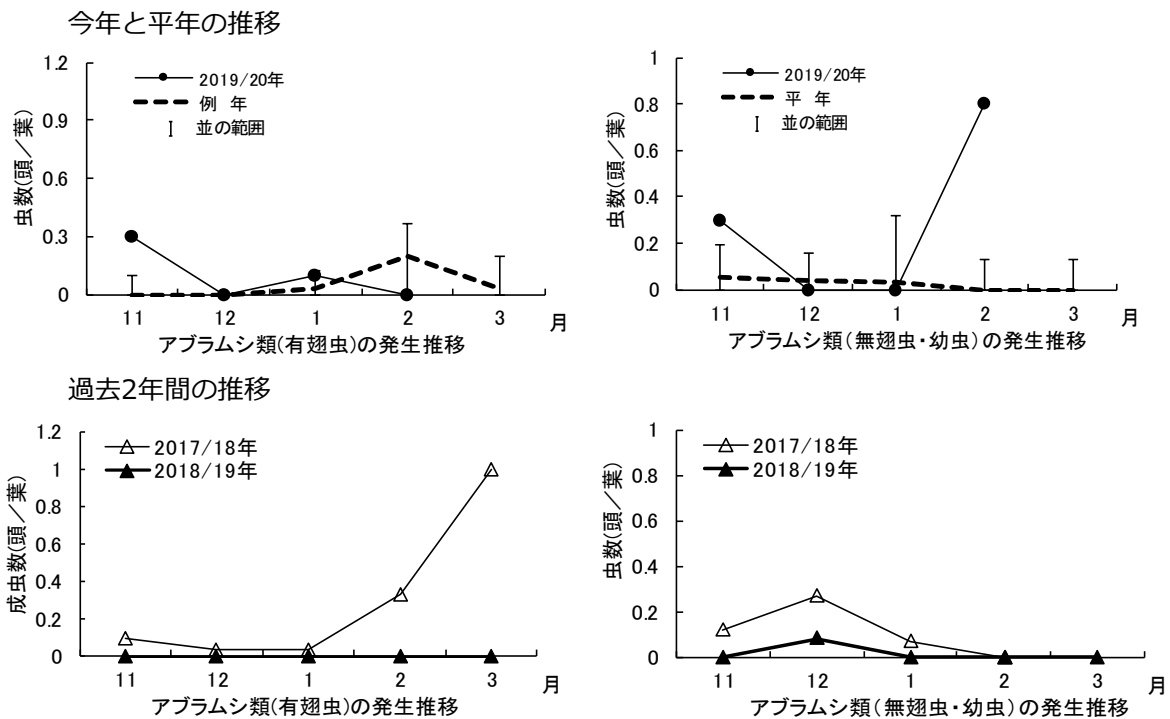
・発生ほ場率：100% (平年値：73.3%)

防除のポイント

- ・強風による葉すれ等の傷口から感染するため、防風垣（ソルゴーや防風ネット等）を設置する。
- ・降雨や強風などの気象条件が続くと急激に広がる場合があるので、風雨前の予防散布を徹底する。

作物	かぼちゃ	地域	八重山群島
病害虫名	④ アブラムシ類		
予報	3 月の発生量 (平年比)	やや多	
	2 月からの増減傾向	↓	
予報の根拠	2 月の発生量 (平年比)	やや多	
	その他 (気象要因など)	無翅虫の平年の発生量の推移 (↓)	

調査結果




・発生ほ場率 (無翅虫・幼虫) : 60.0% (平年値 : 45.0%)

防除のポイント

- ・ほ場周辺に防風対策を兼ねた防虫ネットやソルゴー等を設置し、有翅虫の飛来侵入を防ぐ。
- ・葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・ほ場周辺の雑草はアブラムシ類の発生源になるので除去する。
- ・本種はウイルス病を媒介する。

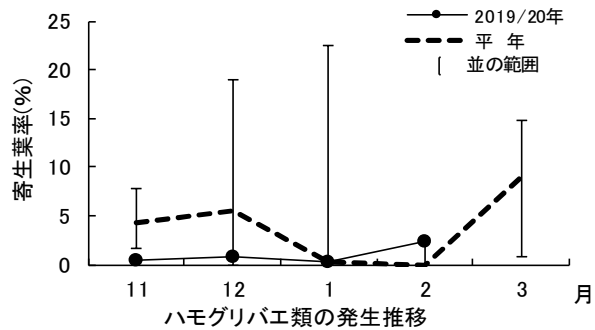


有翅虫

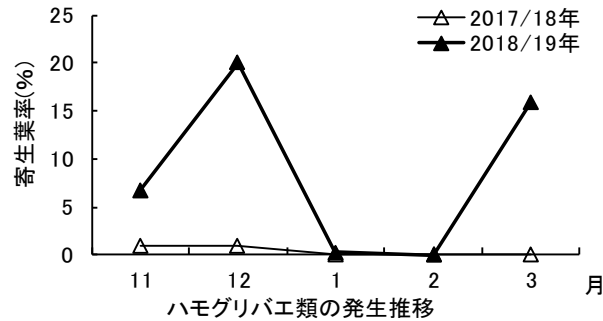
作物	かぼちゃ	地域	八重山群島
病害虫名	⑤ ハモグリバエ類		
予報	3 月の発生量 (平年比)	並	
	2 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	2 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

今年と平年の推移



過去2年間の推移




・発生ほ場率：100% (平年値：47.5%)

防除のポイント

- ・多発すると防除が困難になること、また寄生痕からうどんこ病や細菌性病害が侵入する可能性があることから、発生初期の防除を徹底する。
- ・幼虫期間が短いため、葉面に産卵痕や食害痕が見え始めたら防除を開始する。
- ・防除効果は幼虫の体色で判断する。生存時は黄色で死亡すると黒変する。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
- ・ほ場周辺の雑草は本種の発生源になるため除去する。

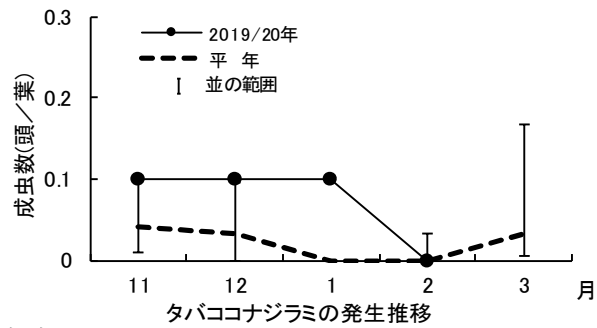
幼虫の死骸 (農薬などで死亡すると黒色に変色)



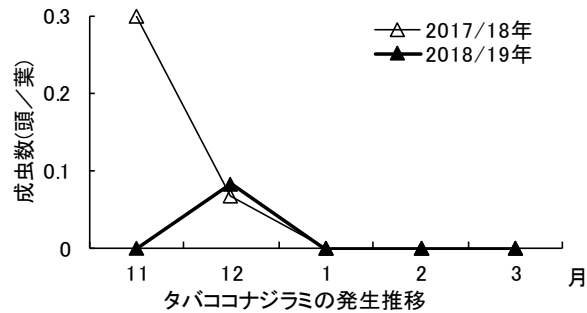
作物	かぼちゃ	地域	八重山群島
病害虫名	⑥ タバココナジラミ		
予報	3 月の発生量 (平年比)	並	
	2 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	2 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

今年と平年の推移



過去2年間の推移



・発生ほ場率：20.0% (平年値：37.5%)

防除のポイント

・多発すると白化症を引き起こし、生育不良となる場合がある。また、防除が困難になるので、葉裏を観察し早期防除に努める。

・発生源となる周辺雑草の除去に努める。

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。